

湖西市国民健康保険事業基金の見込み及び今後の税率改定について

【要旨】

令和2年度実績及び令和3年度収支状況を基に、令和2年度の運営協議会において試算した基金残高の見込みを修正したので報告する。

【修正前：基金残高見込】

令和2年度運営協議会における基金残高見込み

	2年度 (予測)	3年度 (予測)	4年度 (予測)	5年度 (予測)	6年度 (予測)	7年度 (予測)
実質収支(万円)	▲10,594	▲17,773	▲14,206	▲10,140	▲6,038	▲5,432
基金残額(万円)	48,928	31,155	16,949	6,809	771	▲4,661

【修正後：基金残高見込】

令和3年度運営協議会における基金残高見込み

	2年度 (実績)	3年度 (予測)	4年度 (予測)	5年度 (予測)	6年度 (予測)	7年度 (予測)
実質収支(万円)	▲2,883	▲512	▲3,752	▲3,752	▲3,752	▲3,752
基金残額(万円)	53,507	53,512	52,375	48,623	44,871	41,119

【修正理由】

コロナ禍の影響により、令和2年度以降の保険税収納率の大幅な減少を見込んでいたが、令和2年度収納率は対前年比0.46ポイントの増加であった。

また、所得の減少を憂慮し、保険税調定額の大幅な減少も見込んでいたが、令和3年度本算定時点での調定額は、対前年比1.47ポイントの減少であった。これは被保険者数の減少（対前年比2.4ポイント減）によるものであることから、コロナ禍の影響による課税所得の減少は極めて少ないと考えられる。

以上のことから、コロナ禍の影響を考慮しない見込みへと修正する。

【今後の税率改定】

修正前の基金残高見込みによると、遅くとも令和5年度には調定額を増やすための税率改定の審議を行う必要があったが、修正後の基金残高見込みであれば、早急に改正を行う必要はなくなった。

また、静岡県国民健康保険運営方針では、県内市町は令和9年度までに保険料水準の統一を目指すことが目標となっており、次の改定は令和6年度に予定されている。今後は団塊世代の後期高齢化等による被保険者数の減少も懸念されることから、令和5年度以降に基金残高と県運営方針改定案を基に、税率改定について検討していく。